

石神井図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和5年11月2日（木）10時00分～11時30分
- 2 場所 石神井図書館 2階会議室
- 3 出席者 利用者 14名 図書館 5名（石神井図書館長、館長代理4名）
- 4 テーマ 「地域とのつながりから石神井図書館を考える」

5 配布資料

(1)次第

(2)これからの図書館構想の概要

(3)昨年の利用者懇談会以後のイベント一覧

(4)石神井ゆかりの作家パスファインダー

(5)「石神井図書館周辺 農マップ」

(6)読書週間事業「ブック・アドベンチャー」ブックリスト・館内マップ

(7)（直近のイベントちらし等）「ドリアン助川『動物哲学童話』を語る」「家族の明日を考える～在宅療養の基本的なおはなし～」 「消費生活展ねりま2023」「石神井図書館おはなし会フェスティバル」「石神井図書館周辺“農”マップ」

(8)アンケート

6 次第

(1) 石神井図書館長挨拶

(2) 図書館職員紹介

(3)地域連携事業についての報告

〔1部〕

- ・近隣施設との連携事業
- ・関係部署・ボランティアとの連携事業

質疑応答

5分休憩

〔2部〕

- ・学校支援事業

質疑応答・意見交換

石神井図書館利用者懇談会 会議録

1 石神井図書館長挨拶

これから『練馬区立石神井図書館 令和5年度 図書館利用者懇談会』を開会いたします。館長をしております、廣川と申します。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日のテーマは昨年に引き続き「地域とのつながりから石神井図書館を考える」と題しまして、お話をさせて頂きたいと思います。石神井図書館は地域連携を大切に考え、運営を進めております。本日いらっしゃる皆様にも、日ごろから大変お世話になっております。第1部では石神井図書館で実施している事業の中から、皆様とも連携させていただいている地域連携に関わる事業について報告させていただきます。第2部では地域連携事業として重要な位置づけにあります「学校との連携」について報告させていただきます。

それぞれの報告の後に本日ご出席いただきました地域のみなさま、図書館を利用されている団体のみなさま、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。11時30分までの短い時間ではございますが、最後までよろしくお願ひ申し上げます。

2 職員紹介

館長 館長代理 4名

3 地域連携事業についての報告

【1部】

3-1 近隣施設との連携事業について

石神井図書館はお手元の『これからの図書館構想』の基本理念「世界につながる彩り豊かな知の情報拠点」に基づき、区民の皆様や地域が抱える課題解決のお手伝いや、区民の皆様と協働する地域に根差した図書館サービスを展開することで、地域とともに歩む図書館を目指し、様々な世代への読書支援と情報発信の充実を図っていきたくと考えています。

当館では、『これからの図書館構想』のコンセプト1「世界の知と出会い、学びを豊かにする」に基づき、「多様な世界の入口としての図書館」を目指し、様々な分野の本を入口に多様な世界に出会える幅広いテーマのイベントや展示を心がけ実施しています。配布しましたイベント実施一覧が昨年度の懇談会後から今年の10月までに実施しました一般・児童・青少年の事業になります。

本日はこの中から、地域連携に関する事業について報告致します。図書館構想のコンセプト2「練馬の文化を継承・発信する」コンセプト3「知が交わり、創造を生み出す」を念頭に、石神井図書館では次の3つの柱で地域連携の事業を考えております。

- ① 近隣施設等と連携し、石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の魅力を伝える事業
- ② 練馬区の関係部署と連携して生活に役立つ情報発信や、地域で活躍するボランティアやサークルの方々と連携して、地域の皆様の読書活動を支援する事業
- ③ 地域の学校との連携事業

以上3つの柱で事業を実施しております。こちらに基づきまして、実際に行った事例を報告致します。

最初に①の近隣施設等と連携し、石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の魅力・特色を伝える事業の事例です。

都立石神井公園との連携についてですが、石神井地域の豊かな自然を伝える事業として行っています。公園との連携では、図書館で行う講義と本の展示、公園で行う自然観察会を組み合わせるといった形式で行っています。昨年度児童向けで実施した「石神井わくわく探検 おしえて！ちょうちょ先生バタフライガーデン観察会」と題して行った、公園内の「蝶々園」の観察会を皮切りに、一般向けでも「野鳥観察会」や「美しき蝶の世界」と題して蝶々園観察会を実施しました。残念ながら、一般向けはどちらも天候にめぐまれず、図書館の講義のみとなりましたが、公園の職員の方が、観察する予定だった、普段は入ることができない「野鳥誘致林」や職員さんが蝶の好む場所としてつくった「蝶々園」の紹介動画を撮影してくださるなど、なるべくリアルに体験できるよう工夫して実施してくださいましたので、実際に観察をする際に大いに役立つ内容となり、好評を得ました。

今年度の児童向けイベントとしては、冬に石神井わくわく探検シリーズとして、冬でしか味わえない石神井公園の姿を楽しむというコンセプトで、「野鳥と冬芽」の観察会を行う予定です。

階段のところで「階段ギャラリー」と題してパネル展示を行っているのですが、こちらでは6月の環境月間に昨年からの石神井公園の「生物多様性保全の取組」を紹介するパネルを作成いただき、展示しています。今年の6月も主に蝶々園を含めた、公園内の多様性を保全しているスポットや取り組み等を紹介しています。また「石神井公園の自然」展と題して、石神井公園の生物や春夏秋冬の自然の写真も展示しており、今年で4回目となります。

そして、もうひとつは石神井地域の歴史を知ることができる事業として、郷土史家をお招きして、「石神井城」に関する講座と歴史散歩をセットにしたイベントを実施しました。その際も石神井公園内にある、普段開放していない石神井城址の見学にご協力いただきました。

また、2021年度から3月に石神井公園主催で実施されている環境を考えるイベント「シンクエシカルパークデー」には、昨年度の3月に実施された第2回目から当館も参加しています。会場では環境に関する絵本の読み聞かせや、環境問題やSDGsに関する本の展示や工作会を実施しました。

次に練馬区立石神井公園ふるさと文化館との連携について報告致します。石神井ゆかりの作家を知って頂く事業として、ふるさと文化館と連携させていただき、講演会やパネル展、パスファインダーの作成・配布などを実施しています。石神井地域には「石神井文士」とも呼ばれる昭和20～30年代に作家・檀一雄を中心に、文学的交流を繰り広げた作家たちがいました。この作家たちの作品や功績を広く知っていただくことを意図して行っています。これまで檀一雄と五味康祐（ごみやすすけ）を取り上げましたが、講演会の際には、参加者から「石神井の新たな魅力を知ることができた」「石神井、石神井文士の価値が高まった」といった声を頂きました。今年度は2月に石神井文士のひとり、庄野潤三を取り上げ、講演会の講師とパスファインダーの校正をお願いする予定となっております。

またもう1つは、当館で活動されている練馬ふるさと紙芝居サークルが制作する紙芝居の絵の時代考証等でご協力頂いています。こちらの紙芝居はふるさと文化館が発行している『ねりまの昔ばなし』をもとに作成しています。こちらの紙芝居は図書館にも所蔵しています。うしろにも展示しておりますので、

後程ご覧ください。

また館内では、ふるさと文化館で実施している展覧会ごとに関連する本を展示し、配布物などと共に展覧会を紹介しています。

次にお向かいの練馬区立白百合福祉作業所との連携についてです。白百合福祉作業所の就労支援の活動を知っていただく事業を実施しました。昨年度2月、「白百合福祉作業所 大公開！」と題して、施設を紹介するパネルを作成いただき、階段ギャラリーでパネル展示を行いました。

今年度は8月に「出張！白百合福祉作業所」と題して、作業所の方に来ていただき、半日ほどこちらの会議室でイベントを実施しました。作成頂いていた作業所の紹介パネル展示、事業内容紹介動画の上映、施設の利用者の方が作成した自主製品の展示、そして自主製品のひとつ、さをり織りを体験するコーナーを小学生対象に行っていただきました。また会場内に図書館に所蔵する関連資料も展示しました。アンケートでは、「地域の人の働き方などを具体的に知れたので良かったです。作っている物もデザインがかわいくて素敵でした」という声などを頂きました。

また同じく当館で実施した「石神井えんにち」にもご協力いただきました。詳細は後程報告致します。

次にちひろ美術館・東京との連携についてです。主に文化庁 Innovate Museum 事業として実施しています。こちらは博物館が新たに求められる社会や地域における様々な課題への取り組みを文化庁が支援する事業となっています。石神井・貫井・南田中の図書館 3 館とちひろ美術館・練馬区立美術館の連携で、これまでブックリストの作成・配布や両美術館に所蔵している作品をカードにした所蔵品カードでワークショップを行うなど、両美術館の紹介を行うとともに、図書館の資料を活用し、美術への興味関心を深めていただく事業を実施しました。

また当館を本会場に他2館に配信するオンライン講演会を実施しています。ちひろ美術館で開催している展覧会を知っていただき、理解を深める講演会として、今年度は2つ、9月にちひろ美術館常任顧問であり、美術・絵本評論家の松本猛氏に展覧会「谷内こうた展」にちなんだ講演会「谷内こうたの世界〜風と光と音の詩人〜」と、現在開催されている「ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展」に関連して、10月に絵本作家 村上康成氏とはたこうしろう氏の対談「いま、絵本で伝えたいこと」を実施しました。こちらの展覧会に関する講演会は、毎回人気の講演会となっております。

また館内では、ちひろ美術館で実施している展覧会ごとに関連する本を展示し、配布物などと共に展覧会を紹介しています。

次に氷川神社との連携についてです。石神井氷川神社で5月に開催される地域のものづくりの魅力を味わうことができるイベント「井のいち」や8月の「ちやが馬七夕」で、本の展示やおはなし会などで参加させて頂いています。「井のいち」では井のいちに関わる人々に「まちの人に読んでほしい本」を紹介いただき、会場に展示しました。またイベント当日に展示した本を後日館内でも展示することで、当日参加できなかった方にも広く本を見ていただけるよう、また地域で行われているイベントに興味を持っていただけるよう工夫しております。「ちやが馬七夕」では、先ほどふるさと文化館の際に報告しました「練馬ふるさと紙芝居サークル」の上演支援をさせていただきました。また館内でも練馬の伝統的な七夕かざりであるちやが馬を展示し、「ちやが馬七夕」の紹介をしました。

さて、ここで突然ですが、令和5年度の練馬区が推す「ねりま推し」の3つをご存じでしょうか？

1つ目が、NHK 朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルとなった日本植物分類学の父・牧野富太郎博士です。2つ目が、6月に開園した施設「ワーナーブラザーズ スタジオツアー東京 メイキング・オブ・ハリーポッター」です。開園にあたり、練馬区では練馬の町を魔法の世界に仕立てるプロジェクト「ねりまシティ・ウィザード・プロジェクト」を行っています。そして3つ目が11月19日に開催する全国都市農業フェスティバルです。石神井図書館でもそれぞれの推しをアピールする事業を実施しています。

まず1つ目の牧野富太郎博士関連としては、牧野記念庭園にご協力いただいた博士の功績紹介パネルの展示や講演会「牧野富太郎と南方熊楠～すれ違う個性」の実施、また牧野富太郎に関する本の展示、そして夏休み期間には、NHKより「らんまん」の等身大パネルを借り受け館内に設置しました。

2つ目のスタジオツアー東京の開園に関しては、「魔法とファンタジーの世界へ」と題した本の特集展示や児童室の絵本コーナーに魔法と冒険の雰囲気装飾し、関連本を展示しました。また10月には、関連講演会として、赤坂アクトシアターの支配人による「舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』～プロデューサーに聞く魔法の世界の裏側～」、もう1つはハリーポッターシリーズの翻訳家・松岡佑子氏による「何度読んでも面白い ハリー・ポッターの魅力」の2つを実施しました。

3つ目の推し、全国都市農業フェスティバルについて、少し詳しくお話します。こちらの関連事業として、石神井地域の農業についてより身近に感じていただく事業を実施しています。

石神井図書館からすぐ近くのところにあります、農業体験農園「農の詩」と連携して、事業を実施しました。まずは6月に児童向けイベントとして、「石神井わくわく探検 きみも野菜博士！練馬大根とキャベツについて知ろう」と題して、「農の詩」の園主を講師に迎え、前半は会議室で練馬区の農業についての講義を行い、後半は農園に移動し、農園内の見学や野菜の収穫体験を行いました。また「農の詩」にはさらにご協力いただき農園の様子を撮影させていただき、農業体験農園の説明とともにパネル展示を行いました。あわせて「ねりまの農業」と題して、本の展示や関連冊子などの配布を行っています。そして、さらに、現在は「石神井図書館周辺の“農”を知る」と題して、農業体験農園「農の詩」を含め11の農園にご協力いただき、紹介パネルを作成し、展示しております。こちらはお帰りの際にぜひご覧いただきたいのですが、各農園を取材させていただき、簡単な紹介と農園の様子がわかる写真で構成されています。また併せて、お手元の「石神井図書館周辺 農マップ」を作成いたしましたので、ご覧ください。こちら開いたところに11の農園の方から頂いた紹介文とおすすめの本などが載っています。また図書館で農業についての調べ方や練馬の農を知るための資料を紹介しています。そして裏面はマップになっており、紹介させていただいている農園と練馬区の農業を知ることができる施設として、ふるさと文化館やJAあおばをあわせて紹介しています。こちらは館内でも配布致します。練馬区の農業が、農業体験農園を始めとし、都市農業として先進的であり、生活の身近にあることはご存じの通りですが、実際取材をし、私たちも想像以上の石神井地域の農の豊かさに触れ、ぜひ1人でも多くの方にこのマップを片手に農園に足を運んでいただきたいと思います。

以上が近隣施設との連携についての報告となります。

3-2 関係部署・ボランティアとの連携

それでは次に地域連携の2つめの項目、練馬区の関係部署と連携して生活に役立つ情報発信や、地域で活躍するボランティアやサークルの方々と連携して行っている地域の皆様の読書活動支援事業についてお話します。

まずは練馬区の関係部署との連携事例についてですが、生活お役立ち講座として、区の取り組みやサービスを広く知って頂く機会として、情報発信の一環で行っています。今年度実施している講座について紹介いたします。

10月に介護保険課と石神井地域包括支援センターとの共催で、介護が必要になったときに、どうしたら良いかを知って頂く講座として「介護保険ってなんだろう？～家族やあなたが突然たおれたらどうする？」を実施しました。参加された方からは「多面的なサービス内容を具体的に知ることができた」「身近な施設でこのようなイベントがあるのはとてもありがたいです。」といったご意見を頂きました。

11月18日地域医療課による練馬区在宅療養講演会「家族の明日を考える～在宅療養の基本的なおはなし～」のDVD後日上映会、1月に国保年金課国民年金係&練馬年金事務所との共催で実施する、公的年金制度の加入から受け取るまでの流れを学ぶことができる「知っておきたい年金のはなし」、2月には健康推進課健康づくり係と順天堂練馬病院がん治療センターの共催で実施された「肺がんの最新治療～免疫はがんを克服するのか？」DVD後日上映会を実施致します。

また、図書館での実施ではありませんが、11月11日に練馬区消費生活展実行委員会と練馬区消費生活センター主催で石神井公園区民交流センターで開催されるイベント「今」を知ろう！未来のために 消費生活展2023」に参加します。「エシカル図書館イン生活展」と題して、SDGSの本の展示や児童向けよみきかせや工作会を行います。

次に地域で活躍するボランティアやサークルの方々と連携して、地域の皆様の読書活動支援事業を行っている事例です。

ブックスタートを毎週水曜日と第2第4土曜日、石神井ブックスタートの会と実施しています。練馬区内の赤ちゃんに本を届ける活動で、赤ちゃん向けの2冊の本をプレゼントし、本のよみきかせや手遊び、区内施設の利用案内なども行っています。

あかちゃんおはなし会を第1・第3金曜日の午前10時30分～、幼児から低学年向けのよみきかせを第3を除く水曜日の午後3時～、石神井図書館のよみきかせボランティアの方々と絵本のよみきかせや紙芝居、手あそびなど年齢に応じた内容のよみきかせを行っております。おはなし会を第3水曜日の午後3時～、ねりまおはなしの会と行っております。すばなしや手あそびを中心とした内容で、よみきかせとはまた違った魅力があります。

石神井図書館では第2第4火曜日に布の絵本の会こぶしの方々が活動されています。図書館に所蔵する資料として、布の絵本を毎年5冊ずつ制作されています。昨年制作された布の絵本の一部を後ろに展示させていただいています。ぜひご覧ください。

ふるさと文化館や氷川神社の連携の報告のところでお話させていただきました練馬ふるさと紙芝居サークルですが、「郷土を育む手作り紙芝居の制作」を主事業とするサークルで、『ねりまの昔ばなし』の中の昔話をもとに紙芝居を制作頂いています。こちらでも昨年度制作した紙芝居を後ろに展示しておりますので、後程ご覧ください。

また今年度はコロナが少し落ちついたこともあり、ボランティアの方との協働で、高齢者施設への出張おはなし会を少しずつ始めております。8月にニチイホーム石神井台、そして11月14日にはフローラ石神井公園に行かせていただく予定となっております。

ここでボランティアの皆様と一緒に、これから実施のイベントをひとつ紹介させていただきます。

お手元にちらしを入れておりますので、ご覧ください。11月26日に石神井図書館でおはなし会やよみきかせで活躍されている、ねりまおはなしの会や石神井図書館のおはなし会ボランティアの方々、練馬ふるさと紙芝居サークルの皆様、練馬人形劇サークルの「びっくり箱」などに依頼して石神井図書館の会議室で一日おはなし会を行う「おはなし会フェスティバル」を企画しております。こちらは、石神井図書館の初めての事業になります。石神井図書館や地域に関わりのあるボランティアの方々と一緒に楽しいイベントにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

その他の連携として、児童館との連携についても報告させていただきます。

こちらの懇談会にご出席いただいた折にお話しさせていただいた縁で、今年度は石神井児童館と石神井台児童館と連携させていただきました。

石神井台児童館との連携事業で、青少年向けイベントとして、「出前児童館 涼しい部屋でボードゲームをしよう！」という事業を8月に実施しました。図書館利用が少ない中高生世代ですが、児童館では利用されている中学生が一定数いらっしゃるということで、人気のあるボードゲームと共に、石神井台児童館の職員さんにも出張いただき、普段児童館を利用している中学生たちも図書館にお連れ頂き、図書館を知って頂く機会としました。

また次に報告いたします「石神井えんにち」では、児童館にもご協力いただきましたので、担当より、報告いたします。

8月2日に行った「石神井えんにち」は初の試みでしたが、石神井児童館、石神井台児童館からそれぞれ備品をお借りして、フリスビーやボールを投げてビンゴにする「ストラックアウト」や、ポイを使って水に浮かんでいるスーパーボールをすくう「スーパーボールすくい」などを行いました。また、白百合福祉作業所の方にはテントをお借りするとともに、当日来館者を対象に「缶バッジ制作」の体験会を行っていただきました。他にも、ガチャガチャをしてよみきかせの本を決める「ガチャガチャよみきかせ」や、「子供の浴衣着付け」「わなげ」なども行い、大盛況となりました。参加者はなんと431名となり、2階は大変混雑しましたが、参加した児童などからは他のイベントの際に「またやってほしい」という意見を多数もらっております。この縁日は、前回の利用者懇談会にご参加いただいた皆様のご協力とご支援をいただいで実現したものです。石神井地域の連携の結晶ともいえるイベントになったのではないのでしょうか。

以上のような地域連携を支えるコーナーとして、今年度は一般・児童ともに地域資料コーナーをリニューアルして、館内での情報発信を強化しています。それぞれのコーナーについて、各担当より報告致します。

一般の地域資料コーナーは、こちらの会議室を出てすぐのところになります。昨年度いらしていただいた方には違いに気付いていただけたかもしれませんが、まずはコーナーのレイアウトを一新しています。調べものをしやすいように閲覧席の設置の仕方を工夫し、親しみやすいコーナーとなるようレンガの壁紙でコーナーの一体感を出しています。また、近隣の連携施設のコーナーとして元々設置していました、練馬区石神井公園ふるさと文化館、ちひろ美術館・東京の各コーナーも棚の一面をつかい、レイアウトを変更しました。連携展示などもわかりやすいよう、最上段に各コーナーの表示を設置しています。各コーナーの棚の横には、関連ちらしが置けるよう、ラックを設置しました。現在練馬の農業展示を行っている

テーマ展示コーナーも、コーナーテーブルを設置し、本の展示と配布物が見やすく展示できるように改善しました。資料の配架についても、取りやすいようにボックスを整備したり、資料を探しやすいように各分野が一目でわかるよう、各棚の最上段に表示を設置しました。お帰りの際には、ぜひご覧いただければと思います。

児童向け地域資料の棚についてご紹介します。石神井図書館では児童向けの地域資料の収集、所蔵にも力を入れており、昨年、「こどもちいき」という棚を作りました。練馬区に関連する資料の他、東京都や近隣の施設で配られている冊子など子供に分かる内容のものを集めております。また、石神井公園で配られるチラシや地域のフリーペーパーなど、幅広い視野を持ち、児童の調べる学習に役立つように今後も収集してまいります。また、小学生向け地域資料が不足しているということから石神井・大泉・関町・貫井・南田中図書館の5館合同で始まった、「調べ学習用地域資料カード」という加除式のカードの作成も引き続き行っております。このカードは、近隣の歴史や施設、自然などをテーマとしてA4用紙に出来るだけ分かりやすく紹介し、参考にした本などを記載することで調べ学習の助けにもなるようにと考えたものです。今年で3年目になり、カードの種類が増えていることで、近隣の小中学校からも「調べ学習に役立っている」と学校連絡協議会で好評でした。今年も新しく作成したカードを追加する予定です。後ろにも展示していますので、後程ご覧ください。

以上が地域連携事業のご報告となります。ここまでのところで何か質問がありましたら、挙手をお願い致します。

(5分休憩)

【2部】

3-3 地域の学校との連携事業について

当館では、子ども読書活動の推進計画に基づいて、さまざまな学校支援事業などを行っています。ここからは学校との連携についてご報告させていただきます。

石神井図書館では、石神井小学校、上石神井北小学校、下石神井小学校、光和小学校、大泉東小学校、東京学芸大学附属大泉小学校、石神井中学校、石神井南中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、早稲田大学高等学院中部、都立大泉高等学校附属中学校の11校を支援校としております。支援の内容としては大きく5つの項目になります。団体貸出・図書館見学・職場体験・学校訪問・本の探検ラリーになります。

まず団体貸出についてご報告いたします。毎週月曜日に青い折りたたみコンテナにご依頼いただいた本を詰めて、配送業者が各学校に本をお届けしています。11校の支援校への貸出の他、近年は文庫活動をされている団体等への貸出や、児童館、幼稚園への貸出も大変増えております。認定こども園石神井南幼稚園も団体貸出の利用をされている団体の1つですが、そのご縁もあり、11月には幼稚園でのよみきかせも行う予定です。

次に図書館見学と職場体験です。今年度実施しました図書館見学・職場体験を受入れた学校を表にしましたので画面をごらんください。今年度は図書館見学、出張図書館見学は4校、職場体験は9校の受入を行いました。職場体験の受入数は毎年増加傾向にあり、支援校以外の学校からの依頼もあります。

次に学校訪問と本の探検ラリーについてです。石神井図書館では毎年秋の読書旬間の期間(10月27日～11月9日)に石神井小学校からの依頼を受け、よみきかせ、探検ラリー、ブックトークを行っていま

す。令和5年度は、1・2年生がよみきかせ、3・6年生がブックトーク、4・5年生は本の探検ラリーの依頼があり、現在探検ラリーが実施済みとなっております。先月10月25・26日には石神井小学校で、ねりま子どもと本ネットワーク略してNCBNの方のご協力のもと、本の探検ラリーを実施しました。探検ラリーは、3段階に分かれた問題をお子たちが選び、その問題に関する本を読み、その本の中から答えを導き出すというものです。次々に問題を解いて楽しそうにしている児童の様子が印象的でした。今年のブックトークはこれから行いますが、3年生が「食べるをつくる」、6年生は「家」をテーマに児童サービス担当が5、6冊程度選んだ本をお子たちに紹介します。石神井小学校に出張した後は、図書館でお子さんから声を掛けてもらうことも多く、地域のお子と図書館との繋がりもできる良い機会となっております。

石神井図書館では、支援校である生徒の成果を発表する場としても活用いただいています。中学校との連携事業を2つ報告致します。都立大泉高等学校附属中学校の1年生によるPOP144枚と紹介されていた本を2階で展示いたしました。大泉高校では、毎年書店で主催しているPOPのコンクールに応募されているようですが、学校では展示スペースに限りがあるという話を伺い、図書館での展示が実現しました。枚数が多かったため、前期、後期2回に分けて展示を行いました。力作ぞろい、来館した方にも楽しんでいただきました。

また毎年実施している石神井中学校家庭部によるスペシャルおはなし会では、石神井中学校の生徒がよみきかせを行っております。参加された方からは、「ききやすかった」「大人が読むのとは違った味わいがあったよかった」等の感想が寄せられた他、「中学校の部活動の様子がわかった」等の感想もあり、よみきかせだけでなく、これから中学へ入る子供達やご両親に対して、近隣中学校への興味・関心を抱くきっかけになる有意義な会になったのではないかと思います。

次に調べる学習コンクールについてです。この事業は石神井・平和台・大泉・関町・貫井・南田中の6館合同で行っており、石神井図書館は令和2年度から参加しております。小学生、中学生、高校生を対象に、図書館の本を使って調べた作品を募集し、部門ごとに審査を行い、優秀作品を表彰するものです。年度の初めに支援校へは「図書館を使った調べる学習コンクール」の参加についてご案内させていただいております。また、審査会へのご協力もお願いしており、今年は5校の先生方が審査会にご協力くださいました。今年は小学生7作品の応募があり、先月審査会が行われました。石神井図書館からは1作品が全国コンクールに出品される事になりました。

地域連携事業に関しましては以上になります。最後にご紹介したいのは、読書週間の期間に合わせて行っている館内全体展示です。担当より報告致します。

今年は「ブック・アドベンチャー」と題して、入口正面の特集展示コーナーと各分野の棚や棚横で、館内全体を使って冒険をテーマにした展示を行っています。冒険を広い意味でとらえ、距離や規模に応じて3つのサイズ（SHORT・MIDDLE・LONG）に分類し展示をしています。例えば一般コーナーメイン展示の「書を携えよ、町へ出よう」では、物理的な旅をテーマとしSHORTを都内・関東近郊の旅、MIDDLEを国内の旅、LONGを日本国外の旅と捉えて展示を行っています。その他各分野の棚では身近な旅から宇宙の果て、遙かな歴史まで担当が趣向をこらして様々な角度から冒険の本を展示しています。こちらは各分野の担当スタッフがおすすめしている本のブックリストと展示場所を示した館内マップとなっておりますので、ぜひ一度こちらの冊子を片手に館内を巡っていただければと思います。報告は以上となります。

4 意見交換

図書館 それではここからは、みなさまとの意見交換の時間とさせていただきます。ご発言に際しましてですが、発言なさる方はお話いただく前に団体名をおっしゃってから、ご発言いただきますよう、お願いいたします。また、一人でも多くの方にご発言いただきたいため、大変恐れいますが、ご発言はおひとり様 3 分程度とさせていただきます。皆様との懇談会が有意義なものとなりますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、さきほど冒頭でも申し上げましたが、本日のテーマは「地域とのつながりから石神井図書館を考える」でございます。そのため、館独自で答えられないような、例えば図書館システムに関わる内容など、区立図書館全体に関することはお答えできない場合があります。その際は、練馬区立図書館を総括しています、光が丘図書館にその内容を伝えま。後日、光が丘図書館と調整して、ホームページで回答させていただく予定です。

また、よろしければ、11月11日（土）午後2時～4時に行われます、光が丘図書館での懇談会にご参加いただいて、そちらで質問していただければ、より詳しい回答があると思います。

利用者 ちひろ美術館です。今回初めて参加します。懇談会というのは何年前から行っているのですか？美術館でも展覧会以外にもイベントを行っています、図書館がこんなにイベントを行っていることにびっくりしています。イベントによって初めて来館される人はどの位いるのでしょうか？美術館の場合も、イベントによって美術館を知らなかった人が来館してくれることがあり、地域連携に意味があると思いますが、その後利用につながっているのか調査はされていますか？

図書館 利用者懇談会につきましては、毎年秋の「読書週間」の時期に開催しています。

イベントによって初めて来館される方についてですが、アンケートで来館頻度の質問を設けていますので、初めて来館したかはわかります。そのまま利用に繋がっているかは不明ですが、図書館はあらゆる分野の本がありますので、様々な世界の入り口としての講演会を企画し、イベントをきっかけに図書館の利用、本の利用にもつなげていきたいと思っています。

利用者 石神井公園ふるさと文化館です。図書館の地下に郷土資料室があった時代にもいました。歴史を調べる利用者がいたら、一般的な本は図書館に行き、専門的な事は郷土資料室に行ったりすると思います。（ふるさと文化館の）一番大きな特徴は「もの」があるということです。そういうことで、お客さんの流れが作れるという事があったと思います。歴史という同じ切り口でも、お互い特色が違うので、うまい連携がこの先もできればいいと思っています。

紙芝居も時代考証をしています、読む方が上手という話を聞いたので、イベントに伺いたいと思っています。

図書館 ありがとうございます。今後ともよろしく願い致します。

利用者 石神井児童館です。住宅街にある小規模な児童館です。図書館の行事の取り組みの多さに、すごいなと思ったところです。児童館でも図書の貸出しなどで連携していければと思っています。縁日等でも参加しましたが、児童館には遊びに関するものが多いので、ご協力できる場所があればしていきたいと思っています。

利用者 布の絵本の会こぶしです。私たちの仕事は、地域というか外に向かっているわけではな

いと思っています。図書館にある資料の傷んだものの補修や、新しく制作するなど、基本的には外に向かっていない自覚があります。発足して8年になりますが、去年から会のオリジナルを作るようになり、ある意味、外に向かっての発信になるのかなと思っています。地域に向かって何が発信できるか模索中です。何か意見を頂ければ嬉しく思います。

利用者 石神井地域包括支援センターです。図書館とは、あまり具体的な連携はないかもしれませんが。ただ前回10月に介護保険の講演は行ったという経緯はあります。高齢者の利用者が多い中で何かできることがあれば、これからも連携をとっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

利用者 練馬ふるさと紙芝居サークルです。図書館、ふるさと文化館には細かいところまでご指導いただいて感謝しています。当初のメンバーが、ねりまの昔ばなしを紙芝居に出来たらいいなと思い始めました。地域の連携として、図書館の催しに出たり、氷川神社のちやが馬にも参加させていただいて、良い時間を過ごせました。地域を超えた活動が広がることに、メンバーはとても喜んでいきます。

石神井図書館でのおなはし会フェスティバルにも参加させていただきます。ねりまの昔ばなしなど、子供が知らないことを伝えていければと思っています。

利用者 石神井台児童館です。石神井図書館のイベントのポスターを児童館でも貼ってほしいと頼まれることもあります。目立つポスターでとても良いと思います。イベントのタイトルもとても上手だと感じています。青少年イベントは、地道に続けていくことが大切だと思っています。児童館でも中高生の支援に力を入れていますが、定着するのに10年位かかりました。どうしても時間はかかるものですので、こういったイベントを地道に続けていくことが大切だと思っています。

図書館 具体的にはどのように地道な活動を続けていらっしゃるのでしょうか？

利用者 図書館に行けば、このような（中高生対象のイベント）ことをやっているんだ！図書館に行けばこのようなことが出来るんだ！という発信を続けていくことが大事なのではないかと思っています。

図書館 広報の仕方も難しいなと感じています。学校に依頼したりもしていますが、中高生は忙しく、時間がないとよく聞きます。

利用者 児童館でも小学6年生は2月に試験があるため来なくなります。しかし、2月中旬になると6年生が来るようになります。受験が終わり解放感に満ちている時期に、先取りというかプレ青少年イベントとして6年生向けに呼びかけしておくのも良いのではないのでしょうか。（わからないことなど）学校でも調べることはできますが、図書館でも調べることができるということを分けることが大事なのではないのでしょうか、こういったことも考慮してみるのもいいのではないかと思います。

図書館 参考にさせていただきます。ありがとうございます。

利用者 フローラ石神井公園です。初めての懇談会です。普段は高齢者と接することが多いのですが、小学校との連携で、子どもに対して注意していることは何でしょうか？また、気づきはありましたか？

図書館 言葉使いには注意しています。子どもにとって、これ以上は刺激になるという本は外したりしています。逆にこれは知っていてほしいなということを、押しつけがましくならないうように伝える努力をしています。気づきとしては、今の小学生は冷めていると言われた

りしますが、図書館のスタッフが行くととても喜んでくれます。その後、図書館に来て声をかけてくれると嬉しく思います。

利用者 氷川神社です。神社では、「井のいち」や「ちやが馬七夕」などやっていますが、その時に図書館の人はいつも本も持って来てくれます。おすすめの本やブックリストを持ってきてくれます。そして、境内の奥の森の中で読むという事が、とても素敵で、大変好評をいただいています。七夕は、夕暮れ時を楽しみながら紙芝居を演じてもらっていますが、クオリティも高くて素晴らしいです。それが森を背景にして、外の空気と森と図書館とのコラボがとても素敵なんです。

いつも石神井図書館の人は、外に向かっていくことが多くて、アクティブで、とてもわくわくします。このパスファインダーもとてもいいです。調べる時、僕らの時代は、論文を読むとき、後ろにある参考文献を手掛かりにしていたのですが、この多角的な内容が素晴らしいです。ブックリストも、お薦めの本を載せているのが楽しいです。農マップも素晴らしいです。階段ギャラリーに飾られている人がみんな知っている人で、写真も都市農業の良いところがよく出ていて、笑顔が素晴らしいです。

そしてここにもおすすめの本が載っていて、知らない面が知れたりして、人との交流にもつながっています。石神井図書館の活躍、これからもますます広げていただきたいです。

1つ宣伝させてください。春に井のいち、夏にちやが馬、そして秋にもイベントがあります。神社で行うわけではないのですが、スタッフは同じで、石神井公園の野外ステージで森のジャズ祭を行います。11時頃から夕方までユニットが出ます。ジャズのセッションを本気でやるイベントです。土支田では古民家を使いアフターイベントも行います。みなさま足をお運びいただければ幸いです。

利用者 私は、ねりま地域文庫、布の絵本、ちひろ美術館でのおはなし会など、石神井地域を拠点として活動しています。主として文庫サークルで活動していますが、今日お話にはなかったのですが、よみこんのブックリストを作っています。石神井図書館には、選定するために本を用意して頂いたり協力していただき、助かっています。石神井は広いですが、交通の便はあまりよくないので人が集まりにくいですが、これだけいろいろな事業があると、区報を見て集まってくれたりするのでうれしいです。これからも続けてほしいです。練馬だけでなく、もっと広がって、はぎまにいる子どもたちも来てくれるようお願いしたいです。

利用者 所沢に在住しています。以前光が丘に住んでいました。そういった経緯で今も光が丘でよみきかせを行っています。利用者の会をしたり、文庫もしていたこともあり、ねりま文庫サークルにも所属しています。話をうかがって、特に児童サービスは、こんなにたくさん活動をされていて大変だなと思いました。ありがたいことだと思いますが、できれば学校に行ったら図書館に来るようにアピールしてほしいです。図書館が発展していくことを期待しています。

利用者 ブックスタートの会です。先日、交流会もさせていただきましたが、みなさんが「広くていいわね。スペースが豊富で児童室もあたたかい雰囲気がいいわね」と言ってもらいました。ブックスタートも少し遠くから参加してくれる人がいます。バスに乗ってくる人もいます。そしてまた参加したいと言っています。この懇談会でいろいろな話を

聞いて、地域の方との密着や、学校支援にも力を入れていて、本当に細かく活動されているのだなとつくづく感じました。

利用者 ブックスタートの会です。図書館には馴染みのなかったパパママが、初めて図書館に来るきっかけにブックスタートがなっていることがあります。その時に図書館の子育てに関すること、授乳室の説明もしますが、多くの人が利用しているように感じています。利用カードがない方も多いようで、作って帰っているようです。子育てが孤立しないように、散歩の途中に寄って授乳したり、子育ての情報もあるので図書館に立ち寄ってと声掛けしていますので、悩んでいる親御さんがいたらお声がけしてほしいと思っています。今後も地域の子育てのためにもよろしく願います。

図書館 ありがとうございます。図書館でも子育て支援に関して情報発信など、より改善しようと思っていますので、その際はお話をさせていただきたいと思っています。

利用者 白百合福祉作業所です。本当に様々なことをやっておられて大変だろうなと、すばらしいなと思っています。以前から連携はしていますが、今年は特に階段ギャラリー、出張白百合福祉作業所、石神井えんにちと協力してやらせていただき感謝しております。白百合福祉作業所も、地域の拠点として皆様に気軽に来ていただければと思っていますが、障害者の施設のためか一般の住民の方には敷居が高いというか、入りづらい部分もあるかと思えます。そこに図書館が間に入っていただけると、いろいろ繋がりができていくと実感しております。ぜひ図書館には地域の拠点の中心として、団体を住民に繋げる役割として今後も継続していただきたいと思います。

練馬区社会福祉協議会が運営しており、成年後見制度、生活困窮者など福祉的なことのイベントがあれば、お力になれるのではないかと思いますので、お気軽にご相談ください。今後共よろしく願います。

図書館 皆様たくさんのお話ありがとうございます。先ほどの事例でも報告させていただいた通り、こちらの懇談会にご出席いただいたことが縁で、連携に発展した事業もあり、図書館にとっては大変有意義な会となっております。また、先ほど図書館は地域の拠点となってほしいという励みになる言葉も頂きました。これからも地域とともに歩む図書館を基底に、本を通して多様で豊かな世界と出会える事業を展開してまいりたいと思います。

図書館 時間となりましたので、これで閉会とさせていただきます。引き続き、図書館の運営にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。またのご来館をお待ちしております。